

式場・宴会場の認証基準補足事項

コロナ対策認証制度調査事務局

1 認証基準に対する補足事項

基準番号	認証基準	対応案
1, 2	注意喚起等の貼り紙(体調不良者入店お断り、手指消毒等)の掲示位置	宴会場として使用する際にセッティングできていればよい。
2	手指消毒液の設置について	
3	順番待ち等により列が発生するなど密な状況を避ける	早めに開場する等、参加者が集中しないような工夫も望ましい。
7, 8	飛沫感染防止のための客席利用の考え。「同一グループ」の取扱いについて	テーブルを1グループとして扱う。(宴会場の場合、普段から一緒に長時間過ごさない人と一緒になることが多いため)ただし、同一家族1テーブルの場合や、参加者全員が「普段から一緒に長時間過ごす」関係の場合などの例外は認められる。
8	「受付」での飛沫感染防止(パーティションの設置など)	受付のテーブル奥行きにかかわらずパーティションを設置する。(受付は参加者が行うため、体調が管理されている店員以上のリスク管理が必要となるため)
15	お酌・回し飲みを避けるよう注意喚起する方法	会場内に掲示が必要。さらに、会の冒頭などに司会に注意喚起いただく。(別紙「会食時の主催者からのアナウンス」例文参照)
20	司会者の注意。カラオケ、ライブ、ダンス、ショー、余興等の実施	司会者等がマイクスタンド使って話す場合は、参加者との席距離は2m以上確保すること。 カラオケ、余興等は感染リスクの観点からは自粛が望ましいが、実施する場合は必要な対策を全て行い(参加者への要請も含む)、実施すること。
22, 23	適切な換気の実施(CO ₂ センサーの設置、CO ₂ 濃度測定のタイミング)	CO ₂ センサーは常設の必要はないが、部屋を使用する際は、当該部屋に必ず設置する。 CO ₂ 濃度の測定は、部屋の使用中(開始直後を除く)に最低1回は行い、濃度に応じ適切な換気を実施すること。
33	チェックシート(公表用)掲示位置	基準1, 2の対応と合わせ、部屋の前に掲示する。 ただし、毎回部屋の前に掲示することが難しい場合はロビー等に掲示し、各部屋に「“ロビー”に掲示している」と表示してもよい。または、会場側で保管し、各部屋には「チェックシートは申し出があれば提示する」旨を表示する。
34	参加者の連絡先等の把握について(参加者は予約が前提のため、連絡先等を改めて把握する必要があるか?)	予約＝代表者連絡先が分かるため、改めての確認は不要。 ただし、主催者に対しては、万が一感染者が発生した場合に追跡できるよう、当日の参加者(飛び入りを含む)の名前、連絡先を把握するよう要請する。

基準番号	認証基準	対応案
他	ホワイエ(ロビー)を待合室として使用し、飲食を提供する場合は、基準の遵守を求めるか？	飲食を提供する以上、基準の遵守を求める。 ※ 他団体との接触があり得る場合(複数団体同時開催など)は、他団体のエリアと区別できなければ、飲食提供は不可とする。
他	認証ステッカーの掲示位置	全ての会場利用シーンで認証基準を満たしていると利用者等に誤解されないよう、宴会利用時のみ掲示する。 常時貼付ける場合は「宴会利用時のみ認証店」である旨を表示する。

2 立食時の留意事項

【リスクのポイント】 ～～着席の飲食スタイルと比較して認証基準を遵守するためのハードルが高い～～

- ・椅子が無いため、人と人との距離の確保が困難。
- ・着席の飲食スタイルと比較して、「話す」ことのウェイトが大きく、お酌の禁止やマスク会食の徹底が必要。
- ・利用者が自由に移動するため、利用者の入れ替わりの都度テーブルを清拭するのが困難。
- ・飲食はビュッフェ形式が想定され、ビュッフェ対策(使い捨て手袋着用等)を実施する必要がある。

※別紙「立食形式における課題と対応(席配置等)」もご参照ください。

基準番号	検討事項	対応案
8, 9	椅子がない中、どのように席を設定するか	<p>【ポイント】</p> <p>①「飲食する」場所と「談話する」場所を分ける</p> <p>②「談話する」場所においては、足下にマークを設置する等、対人距離が確保できるよう配慮する</p> <p>【標準的な対応例】</p> <p>①予めテーブルを指定し、入口(受付)において、利用者のテーブルを割り振る。(必須ではないが、他の利用者と食器を共用しないような配慮が必要)</p> <p>②席については、「飲食」「談話」の場所を分け、「談話」する場所では飲み物のみ可(マスク会食を徹底)とする。(別紙レイアウト例参照)</p> <p>③会の冒頭、途中に司会に注意喚起いただく(別紙「会食時の主催者からのアナウンス」例文参照)</p> <p>④会の進行とともに、座席での飲食の徹底、距離の確保が疎かになる可能性が高いため、適時、司会に注意喚起、また、監視(個別注意)を行ってもらう。</p> <p>【可能であれば】</p> <p>誤って他人の食器を使用してしまうのを避けるため、食器(特にコップ)は、会の途中で入れ換える。(例:テーブルに置きっ放しとなっているコップを随時回収する、定期的に交換の時間を設ける、グラス交換制とする 等)</p>
11	滞在時間の設定方法	着席の飲食と比較して会話時間や人の移動が多くなるため、長時間の利用とならないよう、主催者に徹底を要請する。

会食時の主催者からのアナウンス（例）

（1）前提

認証店として遵守すべき事項については、主催者と会場で共有し、主催者から参加者に伝達いただくようお願いします。

会場側は注意事項が遵守されているか確認し、是正が必要な場合は、適宜主催者側に要請の上、注意事項を遵守いただくよう体制を構築することが必要です。

（2）主催者から利用者へのアナウンス例文（状況によって変更可）

① 会冒頭

- ◆ この会場は、宮城県の飲食店認証制度の認証を取得しています。
- ◆ 認証を取得している会場では、感染対策のため、特に「定期的な手指の消毒」「食事中以外のマスク着用」「お酌や回し飲み、食器の共用を避ける」「1 m以上の対人距離確保」について県から求められておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。
- ◆ 平時であれば、グラスを持っての移動、ご歓談をお楽しみいただきたいところではございますが、現在は、新型コロナウイルス感染対策が求められております。立食でのご歓談は、感染リスクが高いことからご遠慮いただき、飲食は現在の座席でのみとさせていただくようお願いします。（立食形式の場合：座席を離れてのお相手とのご歓談の際は、マスク着用の上、飲食は飲み物のみとさせていただきますようお願いします。）

② 会途中（特に立食の場合）

- ◆ ご歓談中のところではございますが、主催者からご案内申し上げます。
- ◆ 現在は、新型コロナウイルス感染対策が求められております。立食でのご歓談は、感染リスクが高いことからご遠慮いただき、飲食は現在の座席でのみとさせていただくようお願いします。また、お酌なども遠慮いただくようお願いします。
- ◆ （立食形式の場合）ご歓談中のところ恐れ入りますが、お客様同士の距離を1 m以上確保いただき、マスクを着用の上でご歓談いただくよう、改めて感染対策のご協力をお願いいたします。また、歓談エリアでの飲食は、飲み物のみとさせていただくようお願いいたします。
- ◆ なお、（〇〇様におかれては、〇〇時頃までいらっしゃる予定ですので、）1箇所にお客様が集中することがないように、併せて皆様のご協力をお願いいたします。